

藤重 雄大 (九州大学 大学院システム情報科学府 情報学専攻 博士後期課程)

【講演概要】：

接尾辞木とは入力文字列のすべての接尾辞を表現するコンパクトトライである。接尾辞木は文字列処理において様々な用途に利活用される重要なデータ構造である。接尾辞木の満たす性質として Golnazi らは長さ n の文字列に対する接尾辞木の深さ d における頂点数の最大値 $v(n,d)$ が $v(n,d) \in O(n/d \log n)$ および $d \asymp \log n$ に対して $v(n,d) \in \Omega(n/d \log(n/d))$ を満たすことを示した。本講演では、下界と一致する厳密な上界 $v(n,d) \in O(n/d \log(n/d))$ の証明および、 $v(n,d)$ が満たす幾つかの性質について紹介する。